

鹿野川ダム下流における 減勢工保護カバーの流出について(続報)

令和3年5月31日に確認した減勢工保護カバー^{※1}の流出について、減勢工の現地調査を実施しました。

調査結果は次のとおりです。

なお、今回の調査結果により当面のダム操作に支障ないことが確認されました。

【調査結果】

■早急な調査の実施（6月7日～10日）

減勢工内の水抜き作業を実施し、減勢工水中部の確認調査が完了しました。

■損傷状況の把握概要

減勢工保護カバーの左岸側の一部の流出を確認。

また、6月1日記者発表の流出部材の隣接部である保護カバー（ステンレス製厚さ6mm、高さ約1m×幅約2.7m）の流出も新たに確認しました。

残り大半の減勢工保護カバーについては、健全な状態で残っていることを確認。

ダム下流河川の巡視を実施し、下流河川内へ流れついているかを重点的に調査していますが、現時点では発見に至っていません。河川を利用されるかたは気をつけていただきたいと思います。その他、お気づきのことがありましたらお知らせ願います。（詳細資料は添付資料のとおり）

※1 減勢工のコンクリートの摩耗を抑制するための保護カバー

《問合せ先》

国土交通省 四国地方整備局 肱川ダム統合管理事務所
副所長 松坂 幸二

代表：(0894)-72-1211（内線：204）

◎鹿野川ダム管理支所長 井上 博文

代表：(0893)-34-2350（内線：6121）

◎：主な問い合わせ先

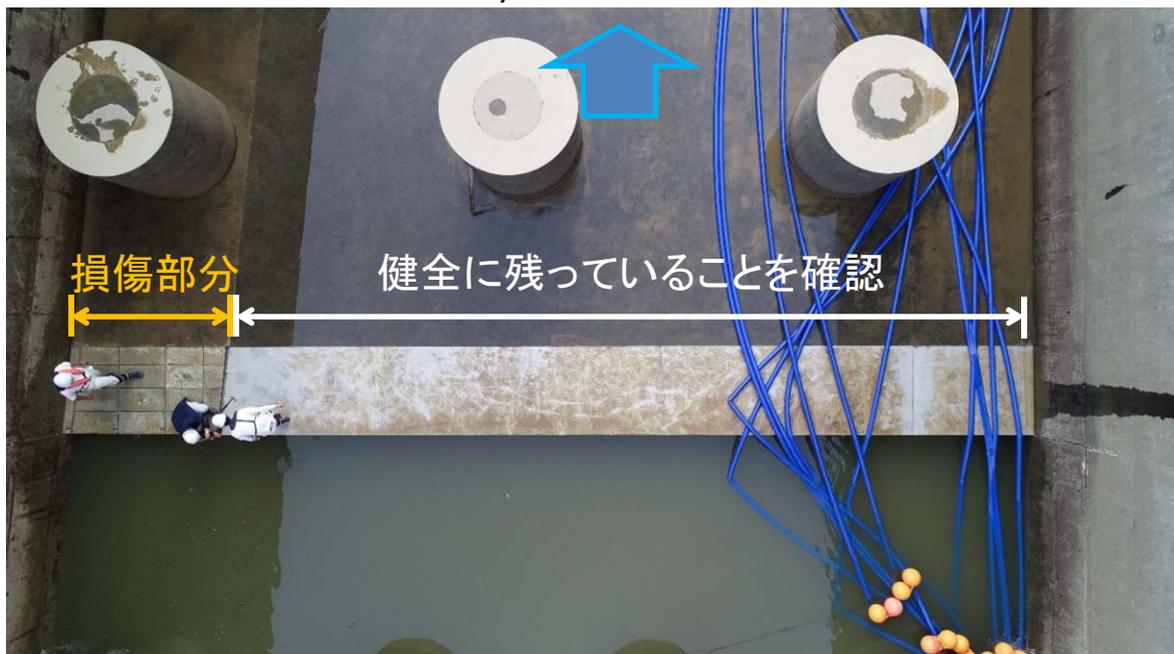
減勢工 水抜き作業状況 (R3.6.10)



損傷部調査状況 (R3.6.10)



保護カバー全景 (R3.6.10)



損傷部近景 (R3.6.10)

